

主な行動報告 & 予定

4月

- 消防団入退団（安心、期待、感謝増幅）
- 中学校入学式（大人への踏切板に乗った顔>>合格）
- 小学校入学式（ランドセルに押しつぶされるな！）
- 豊喜会（民謡の集い・他派交流や斬新性取り込み感服）
- 会議所帷子支部総会（帷子花火など故郷創生基地会議）
- 昇ゼミ（英国議会議に学ぶ・なぜ二大政党制なのか）
- 会派会（「櫛ヶ丘〈仮称〉大森台」宅地開発現地視察）
- 帷子会（地域に立脚し地域を俯瞰・課題共有）
- 中学校PTA総会（子育て組織出発決起集会）
- 自治会各種団体懇親会（できる人が出来る時に出来るだけ）
- 地域福祉活動委員会（高齢化に比例して高齢委員健在）
- 自治連各種団体懇親会（地域を担う面々のケツダン式）
- 青少年育成市民会議（高齢者の余暇と子育て参加発言）
- 議会報告会実施会議（市民の声聞く集音準備確認）

5月

- 帷子幼稚園擁壁工事（工事延期確認・地元要望伝達）
- 名城大学公開講座（市発展のアイデア置き土産を要望）
- 縁塾（祝NPO法人化・起塾精神広がり期待大）
- 名城大学ドーム前キャンパスへ（可児市の心配伝達）
- 帷子公民館祭り（子供達に故郷意識づけ催し大盛況）
- 虹ヶ丘通学路（暫定修理依頼・自治会長と連携）
- 議会報告会（広見・報告係で出席・熱意漏らさず記録完）
- 帷子幼稚園工事（最終工事予定確認・田植えに間に合う）
- 議会報告会（春里・20代～80代の意見確と受け取り）
- 全協（人権擁護委員推薦・第2、3、4回議会日程）

6月

- 消防団激励（操法大会全団に何らかの賞を上げたい）
- 第2回定例会開会（市民の方々手製バラを胸にバラ議会）
- いけばな展（市華道連盟・「花…伝えたいところ」受領）
- 民謡の集い（玉喜会・唄、踊り、三味線で日本の魂を）
- 昇ゼミ（英国政治に学ぶ・政権交代はなぜ起きるか）
- ゲートボール大会（参加年齢幅やギネスブックもの）
- 青年の主張（どうしたら優劣付けられる・無理！）
- 建設市民委員会（問題意識持てばきりが無い裏面参照）
- 予算決算委員会（常任委員会の活性化を発言）
- 定数報酬特別委員会（取り組みのスピードUPを）
- 議場コンサート（一流の音よ議場に浸み込め）
- 本会議（薔薇議会バラバラにならずに閉会）
- 認知症講習会（取りあえずはサポート側ですが）

予定

- 第3回臨時議会開会 8月10日
- 第4回定例会開会 8月30日

さかいまさし通信 まゆめなかな



少年の主張大会で善行少年の表彰

ご挨拶



可児市 市議会議員
さかい 正司
座右の銘 広く遠くゆっくり

暑さ厳しき折、皆様には御健勝にてお過ごしのことと存じます。イギリスのEU離脱が国際情勢に与える影響を注視すべき事態となりました。前東京都知事舛添氏の倫理観にも驚かされました。政治に関わる者の最低限必要な志は自己より他を思いやる精神でしょう。昔は生息した、政治家を辞めたら井戸と堀だけが残った、井戸堀議員という種は絶滅したのでしょうか。他より品位を保つべき議員道を踏み外しそうなら、ただの人の道に戻るべきだと自戒し行動しています。変わらぬご指導、ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

まさしの議会活動

■委員会質疑

建設市民委員会で議案や報告事項について、主に次のような質問や提案を行いました。

質疑の詳細は議会HPや議事録をご覧ください。

また、可児市議会では開かれた議会を目指し、以前から委員会等は公開していただきますので傍聴は自由になります。是非お出かけ下さい。

「体育施設関連の条例改正」

市の直接管理から指定管理者に委託するとデメリットもあり、職員の専門知識や管理ノウハウの蓄積が阻害される。

「アールの大規模改修」

最近設備や建物改修費が多額だ。今後充当する基金の積立は適正か・国の助成金額は？

「インターチェンジ周辺区画事業」

予定区域内の亜炭廃坑の分布状況は。

「かまちづくり基本構想&計画」

土田多目的広場整備事業と連携し、駐車場を確保して欲しい。

「リニア計画進捗状況」

正確な計画図面が欲しい。(後日受領)

「第二次都市計画マスタープラン」

計画、実行、検証、行動(PDCA)の工程表を示されたい。

「日曜、祝日に自主運行バス」

市民の利便性向上と新規需要開拓につなげて欲しい。

「大森台(櫻ヶ丘)宅地開発事業」

当委員会が責任を持って取り組むべきだ。

食品ロス

6月は環境月間でした。可児市生活学校では食品ロスの削減に取り組んでおられます。平成26年度日本の食料自給率はカロリーベースで39%です。(農水省HPより)にもかかわらず、食品ロスと言われる食品廃棄物は年間約2千8百万トン。(農水・環境省H24度推計)このうち食べられるのに廃棄されるのは、642万トンで日本の食用魚介類の年間622万トンに近い量です。(日本のコメの収穫量約820万トン/年)家庭の一人当たり食品ロスの推測は年24.6キログラム、茶碗164杯分のご飯に相当します。モットイナイ、世界的な人口増大、気候変動、水需要ひっ迫に加えて我が国の災害の多さも考えて地球に、人類に優しい暮らしをしましょう。編集後記につづく

知って得するマメ知識 <vol.34>

ひつじの毛のお話し



30年 ムーтонаの寿命

健康に最も良い寝具であるムートンシーツの寿命を、今回クリーニングに出したニクロ毛皮(株)に尋ねたところ、明快な答えがきました。

「適切な手入れをすれば約30年です。」

また洗濯も「通年使用で約4年間に1回で十分です」、の添え書きあり。今迄ひつじの毛の素晴らしき機能ばかり書いてきましたが、費用対効果も、めっちゃめっちゃ良いですネ。



市民や花フェスタ記念公園の善意で議場にバラ

市に十億円・地消地産

>>>ロハスの窓からの続き

藻谷浩介氏が里山資本主義で「地消地産」と、消費の1%を地元で使い地域産業を活性化しようと提唱されています。日本人は一人当たり年平均百万円のモノを買うそうです。その1%を地元産にすると可児市の場合、年間10億円が市内で循環することになります。遠くまで呑みに行かずにバスで近くの飲み屋に行く。地元の直売所で野菜を買えば新鮮で安い、ガソリン代の節約にもなります。

地域活性化だ、まちづくりだと言うまえに、身近なことからコツコツと実行して、地域に優しく暮らしましょう！

Eメールアドレス変更

7月から下記に変更しましたのでご承知おきください。

sakai31@rx.tnc.ne.jp